

7. QCサークル推進 石川 馨賞 規定

2016年（平成28年）2月29日制定
2017年（平成29年）8月4日改定
2018年（平成30年）8月3日改定

1. 名称

本賞は、QCサークル推進 石川 馨賞と称する。

2. 目的

本賞は、QCサークル活動（小集団改善活動）推進者として、QCサークル活動の基本理念の実現に向け、社内および社外の双方において積極的な推進活動に取り組み、顕著な貢献をされ、かつ今後の活動を期待される推進者を表彰する。

3. 表彰

表彰は、次項すべてに該当する推進者に対し表彰する。

- (1) QCサークル活動の基本理念の実現に向け、社内および社外の双方において積極的な推進活動に取り組み、顕著な貢献をされ、企業・組織に属しかつ今後の活動を期待される者。
- (2) 大きな功績とそのための方苦を称えて表彰する、いわゆる功労的な意味合いのある功労賞とは一線を画すため、その者は対象外とする。
- (3) QCサークル支部・地区の幹事を3年以上務めた実績があり、かつ、企業・組織に所属している者。ただし、個人事業主（コンサルタント等）は対象外とする。
- (4) QCサークル本部長より委嘱のあった支部・地区の当該年度の名簿に記載のある幹事または役員を対象とする。
- (5) 候補者は支部からの推薦とするが、支部は各地区への公募を基にとりまとめる。
最終的授賞決定は、QCサークル委員会が行う。推薦様式等の詳細については別紙〈細則〉を定める。
なお、表彰は年度表彰とし、表彰件数は別紙〈細則〉に定める。

4. 贈賞式の開催

本表彰は、原則として、全国QCサークル各支部・地区の総会、または、大会にて贈賞式を行う。

5. 贈賞の内容および贈呈

受賞者には贈賞式において、盾を贈呈する。

6. 盾の贈呈者名

盾の贈呈は、一般財団法人日本科学技術連盟（以下、日科技連）会長とQCサークル本部長の連名とする。

7. 運営と資金

- (1) 本表彰全体の運営は、QCサークル本部（日科技連）が行う。
但し、本表彰の開始のために必要な当初の資金については、「石川 馨先生生誕100年記念事業」で賄い、その後は、日科技連に引き継ぐ。
- (2) 本表彰の運営に必要な指針の制定および変更のため、必要があればQCサークル本部幹事長は、小委員会を設けることが出来る。

8. 贈賞の決定

QCサークル推進 石川 馨賞は、QCサークル委員会が決定する。

改廃

本規定の内容の改廃は、QCサークル委員会の承認を得た後、QCサークル本部長が決定する。

付則

本規定は、2016年（平成28年）3月1日から施行する。

QCサークル推進 石川 馨賞 規定〈細則〉

1. 対象者

本賞の対象は、下記の条件を全て満たす者とする。

- (1) 当該年度のQCサークル本部、支部・地区役員・幹事名簿に記載があり、QCサークル本部長より委嘱のあった者。ただし、企業・組織内の役員と個人事業主（コンサルタント等）は対象外とする。
- (2) 支部・地区幹事として3年以上の実績がある者。

2. 推薦の手順

支部・地区からの推薦にあたっては、別紙「QCサークル推進 石川 馨賞 推薦から贈賞までの手順」を参照する。

3. 推薦と書類確認

- (1) 各支部・地区において選考し、支部長または地区長が世話人名を併記のうえ支部が推薦する。表彰を行うべき推薦者がいない年は、当該年度での表彰は行わない。
- (2) 推薦の募集は年度ごとに行い、推薦は6月30日までとする。
なお、各支部の推薦件数は全日本選抜QCサークル大会（小集団改善活動）（11月）の支部推薦枠数（目安18件）に準ずる。
- (3) 推薦にあたっては次の書類を添付する。
 - （書式1）受賞候補者の経歴書
支部・地区幹事の在任期間（3年以上）と社内推進活動の年度ごとの主な実績など
社内外の推進実績比率は、概ね社内6：社外4を目安とする
 - （書式2）受賞候補者が勤務する企業・組織の上司からの推薦書
 - （書式3）支部推薦書
- (4) 書類確認は、QCサークル委員会委員の中からQCサークル本部長が任命し、委嘱された委員と日科技連役員が行う。書類確認は、原則として7月31日までに行う。
- (5) 書類確認の結果、表彰の要件を満たさない場合は保留とし、日科技連役員が支部推薦者に対してその理由の説明を文書で行う。

4. 授賞の決定

授賞の決定は、原則として、8月のQCサークル委員会が行う。授賞の結果は、QCサークル本部事務局から推薦者に通知する。

5. 贈賞

贈賞は、原則として、全国QCサークル各支部・地区の総会、または大会においてQCサークル本部長が行う。

6. 受賞者の公示

受賞者は、日科技連ホームページ、クオリティ・クラブ（旧日科技連ニュース）および『QCサークル』誌等において発表する。

付記：受賞者は、全国の支部・地区から推薦された栄誉と期待された立場を理解し、表彰後もQCサークル活動の発展のため、QCサークル支部・地区などの普及活動に協力をお願いしたい。

書式 1

QCサークル推進 石川 馨賞 受賞候補者の経歴書

候補者が記入してください。

記入日： 年 月 日

フリガナ 候補者氏名：_____ 印
所属QCサークル組織：_____ 支部 _____ 地区
組織名：_____ 所属・職位：_____
生年月日： 年 月 日生(年齢 歳)

主たる業務	従業員数	
	事業所 名	全社 名

支部・地区幹事の在任期間と社内推進活動を含めた年度ごとの主な推進実績など

年度または期間 (年 ~ 年)	主な推進実績
	1. QCサークル支部・地区での幹事・役員実績, 年数
	2. 社内推進活動の実績(主な取組み) 例: 推進組織の見直し整備、全社大会の改革
	3. QCとQCサークル活動(小集団改善活動)に関する資格関係 (QCサークル指導士認定、品質管理(QC)検定資格認定等)

注：書式1は、候補者自身が作成するが、社内推進活動(取組み)に重きをおいて記述する。
社内外の推進実績比率は、概ね社内6:社外4を目安とする。

書式 2

QCサークル推進 石川 馨賞 受賞 候補者が勤務する企業・組織の上司からの推薦書

記入日： 年 月 日

企業・組織からの推薦

標記受賞候補者として推薦する理由を、組織のQCサークル活動(小集団改善活動)の実践および推進の観点から組織としてどのように評価しているか具体的に記述してください。

企業・組織名		
フリガナ 候補者氏名		
フリガナ 推薦者氏名	印	
所属・職位	所属: _____	職位: _____
連絡先	TEL: _____	E-mail: _____
候補者との関係		

推薦理由

QCサークル推進 石川 馨賞
推薦から贈賞までの手順

